

平成24年度第1回 かわさき市民アンケート 概要版

調査の概要

調査設計等	<ul style="list-style-type: none"> ◆調査対象 川崎市在住の満20歳以上の男女個人 ◆標本数 3,000 標本 ◆標本抽出 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出 	<ul style="list-style-type: none"> ◆調査方法 郵送法 ◆調査期間 平成24年7月19日(木)～8月9日(木) ◆有効回収数 1,380 標本 ◆有効回収率 46.0%
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 1 市民の防災意識について 2 川崎らしいスマートシティについて 3 動物愛護と適正飼養について 	<ul style="list-style-type: none"> 4 感染症情報センターについて 5 特定非営利活動法人（NPO法人）等への寄付促進について

※ 基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数である。また、本文中の「百分率」は小数点第2位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が100にならない場合がある。

調査回答者の属性

1 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	564	40.9
2 女性	791	57.3
(無回答)	25	1.8
合計	1,380	100.0

2 居住区別

	基数(人)	構成比(%)
1 川崎区	195	14.1
2 幸区	149	10.8
3 中原区	217	15.7
4 高津区	194	14.1
5 宮前区	224	16.2
6 多摩区	198	14.3
7 麻生区	165	12.0
(無回答)	38	2.8
合計	1,380	100.0

3 性／年代別

	全体		男性		女性		無回答	
	基数(人)	構成比(%)	基数(人)	構成比(%)	基数(人)	構成比(%)	基数(人)	構成比(%)
1 20歳代	133	9.6	50	8.9	83	10.5	-	-
2 30歳代	274	19.9	97	17.2	176	22.3	1	4.0
3 40歳代	275	19.9	118	20.9	157	19.8	-	-
4 50歳代	228	16.5	96	17.0	131	16.6	1	4.0
5 60歳代	271	19.6	115	20.4	156	19.7	-	-
6 70歳以上	175	12.7	87	15.4	86	10.9	2	8.0
(無回答)	24	1.7	1	0.2	2	0.3	21	84.0
合計	1,380	100.0	564	100.0	791	100.0	25	100.0

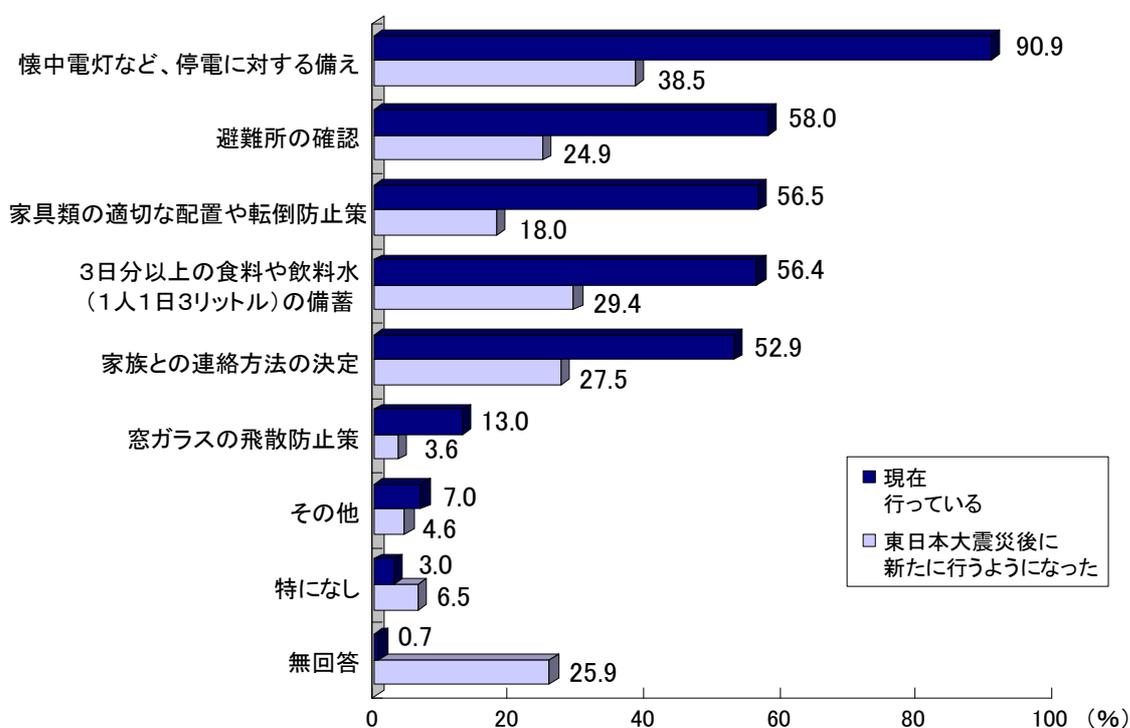
1 市民の防災意識について

1 防災に関する家庭内での取組について

防災に関する家庭内での取組について聞いた。現在行っている取組は、「懐中電灯など、停電に対する備え」(90.9%)が9割を超え最も高くなっている。次いで、「避難所の確認」(58.0%)、「家具類の適切な配置や転倒防止策」(56.5%)、「3日以上以上の食料や飲料水(1人1日3リットル)の備蓄」(56.4%)、「家族との連絡方法の決定」(52.9%)が5割台で続いている。

東日本大震災後に新たに行うようになった取組は、「懐中電灯など、停電に対する備え」(38.5%)が4割弱、「3日以上以上の食料や飲料水(1人1日3リットル)の備蓄」(29.4%)、「家族との連絡方法の決定」(27.5%)が3割弱、「避難所の確認」(24.9%)が2割半ばなどとなっている。

図1 (複数回答) n = (1,380)



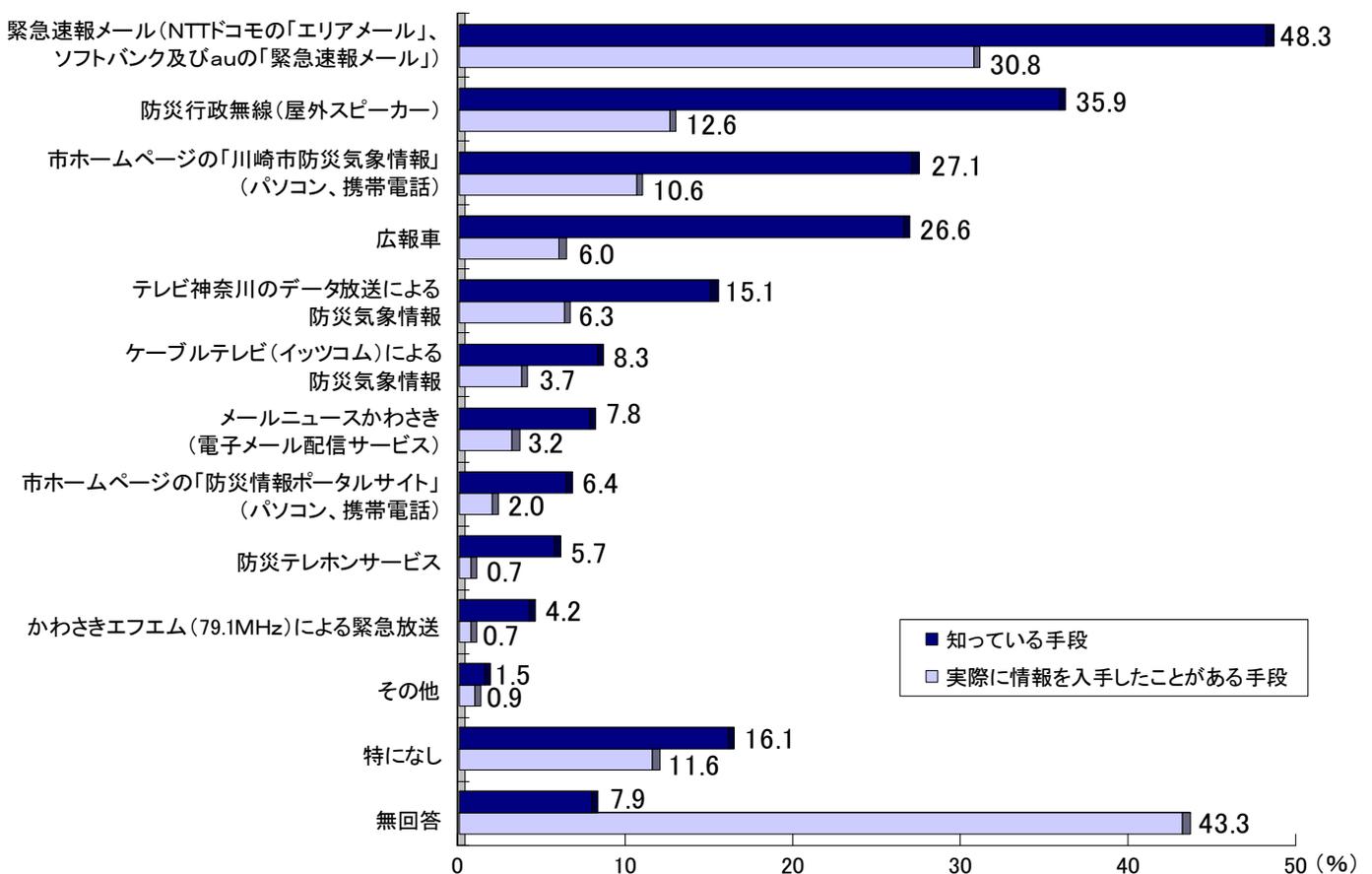
2 市内の災害に関する緊急情報の手段について

市内の災害に関する緊急情報の手段について聞いた。知っている手段は、「緊急速報メール（NTTドコモの「エリアメール」、ソフトバンク及びauの「緊急速報メール」）」（48.3%）が5割弱で最も高くなっている。次いで、「防災行政無線（屋外スピーカー）」（35.9%）、「市ホームページの「川崎市防災気象情報」（パソコン、携帯電話）」（27.1%）、「広報車」（26.6%）の順となっている。

実際に情報入手したことがある手段は、「緊急速報メール（NTTドコモの「エリアメール」、ソフトバンク及びauの「緊急速報メール」）」（30.8%）が約3割、「防災行政無線（屋外スピーカー）」（12.6%）、「市ホームページの「川崎市防災気象情報」（パソコン、携帯電話）」（10.6%）が約1割などとなっている。

図2

（複数回答） n = (1,380)

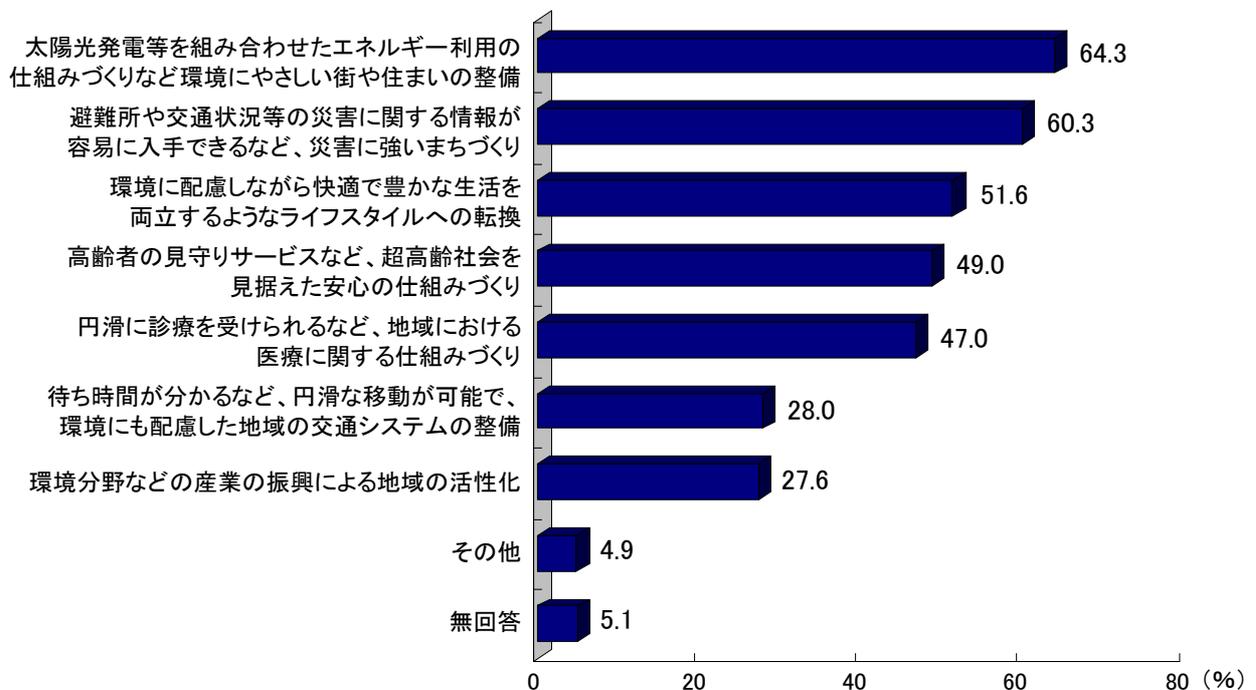


2 川崎らしいスマートシティについて

1 川崎らしいスマートシティについて重要と考えるもの

川崎らしいスマートシティについて重要と考えるものについて聞いた。「太陽光発電等を組み合わせたエネルギー利用の仕組みづくりなど環境にやさしい街や住まいの整備」(64.3%)が6割半ばで最も高く、次いで、「避難所や交通状況等の災害に関する情報が容易に入手できるなど、災害に強いまちづくり」(60.3%)が約6割となっている。以下、「環境に配慮しながら快適で豊かな生活を両立するようなライフスタイルへの転換」(51.6%)、「高齢者の見守りサービスなど、超高齢社会を見据えた安心の仕組みづくり」(49.0%)、「円滑に診療を受けられるなど、地域における医療に関する仕組みづくり」(47.0%)が約5割で続いている。

図3 (複数回答) n = (1,380)

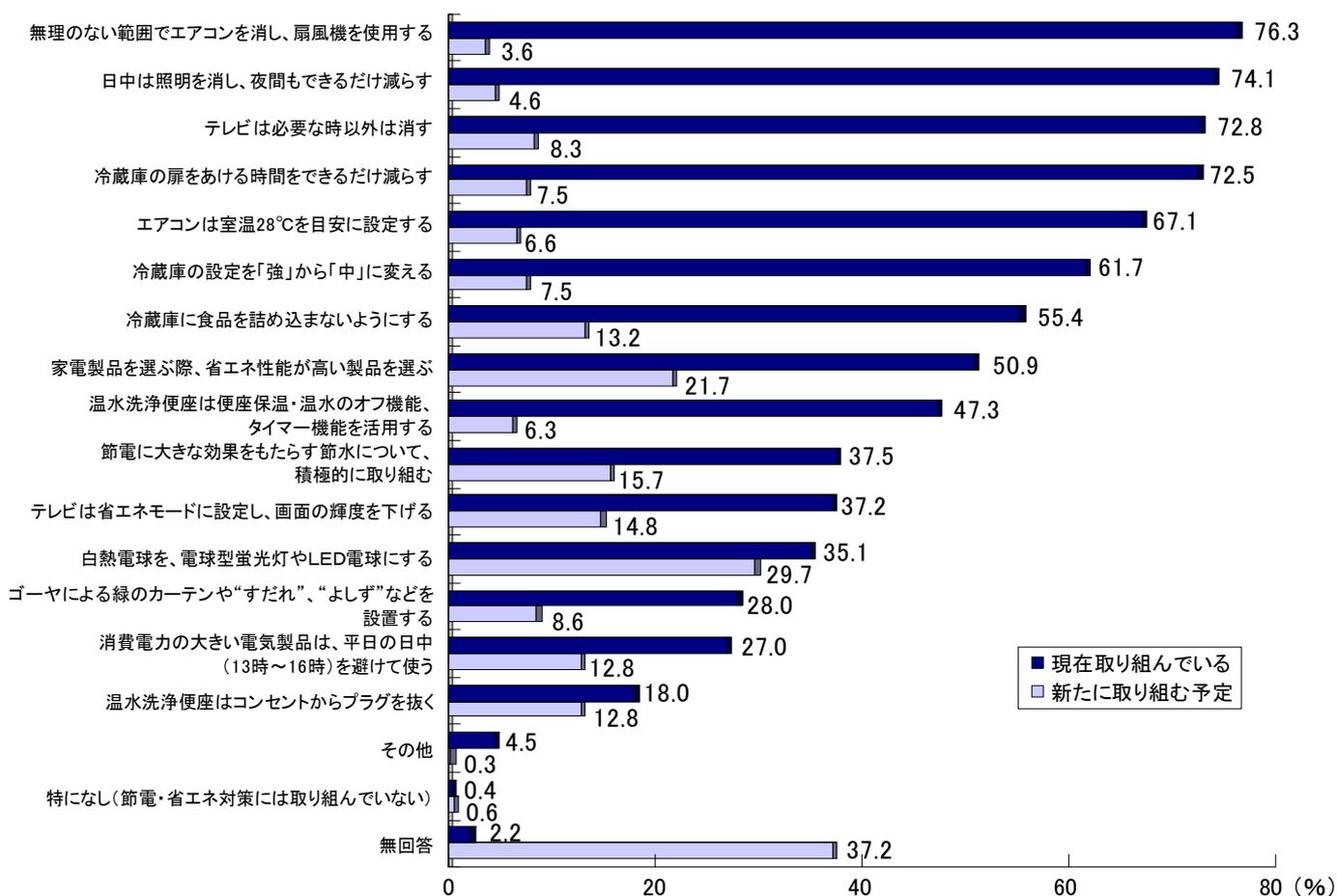


2 家庭で取り組んでいる（取り組む予定）の節電・省エネ対策

家庭で取り組んでいる（取り組む予定）の節電・省エネ対策について聞いた。現在取り組んでいるものは、「無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する」（76.3%）が7割台後半で最も高くなっている。次いで、「日中は照明を消し、夜間もできるだけ減らす」（74.1%）、「テレビは必要な時以外は消す」（72.8%）、「冷蔵庫の扉をあける時間をできるだけ減らす」（72.5%）が7割台前半で続いている。

新たに取り組む予定のものは、「白熱電球を、電球型蛍光灯やLED電球にする」（29.7%）が約3割で最も高くなっている。次いで、「家電製品を選ぶ際、省エネ性能が高い製品を選ぶ」（21.7%）、「節電に大きな効果をもたらす節水について、積極的に取り組む」（15.7%）、「テレビは省エネモードに設定し、画面の輝度を下げる」（14.8%）の順となっている。

図4 （複数回答） n = (1,380)



3 動物愛護と適正飼養について

1 ペットの飼育状況について

ペットの飼育状況について聞いた。「飼育している」(23.0%)は2割強となっている。

また、「飼育している」と回答した人に、飼っているペットを聞いた。「犬」(47.3%)が5割弱で最も高く、次いで、「猫」(29.0%)、「魚類」(22.4%)の順となっている。

図5 n = (1,380)

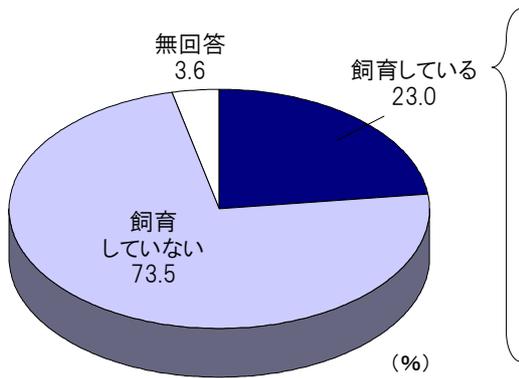
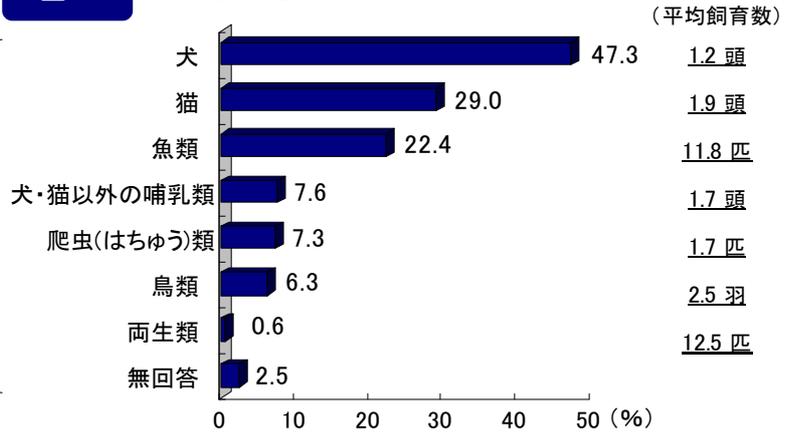


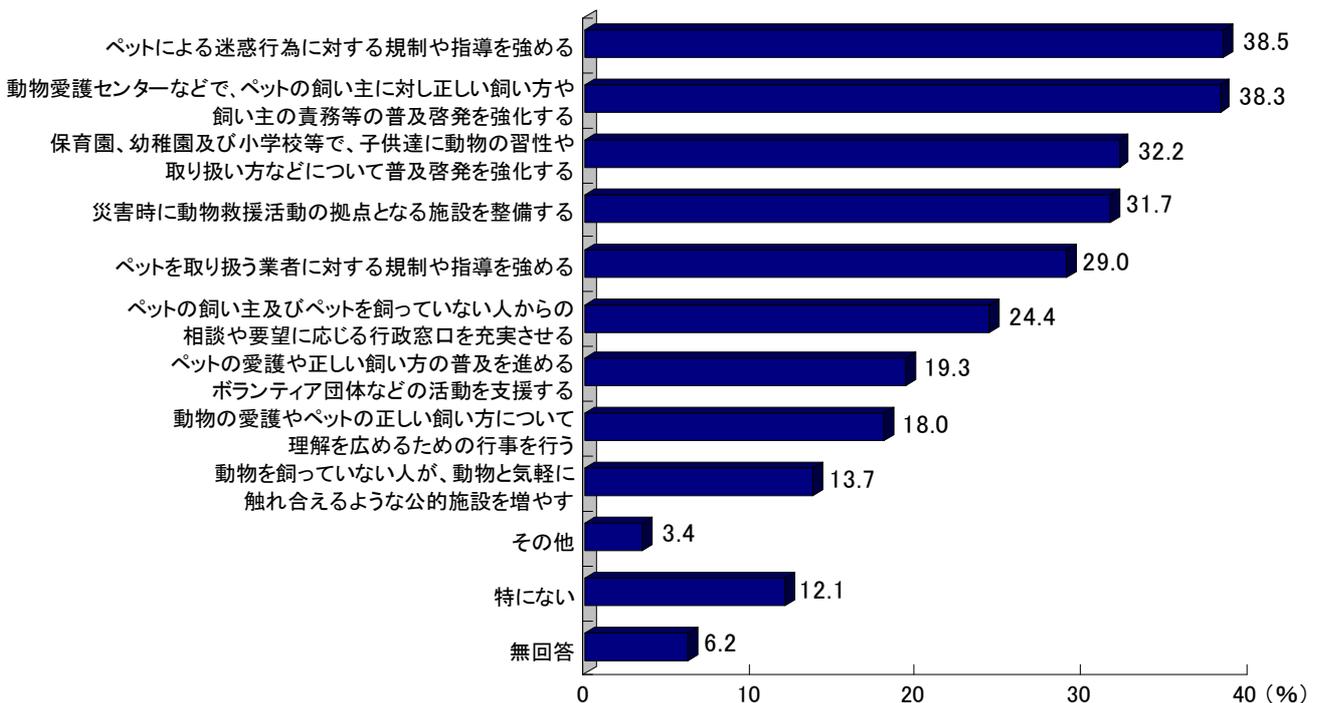
図6 (複数回答) n = (317)



2 動物愛護行政を推進するために市が取り組むべきことについて

動物愛護行政を推進するために市が取り組むべきことについて聞いた。「ペットによる迷惑行為に対する規制や指導を強める」(38.5%)、「動物愛護センターなどで、ペットの飼い主に対し正しい飼い方や飼い主の責務等の普及啓発を強化する」(38.3%)が4割弱で高くなっている。

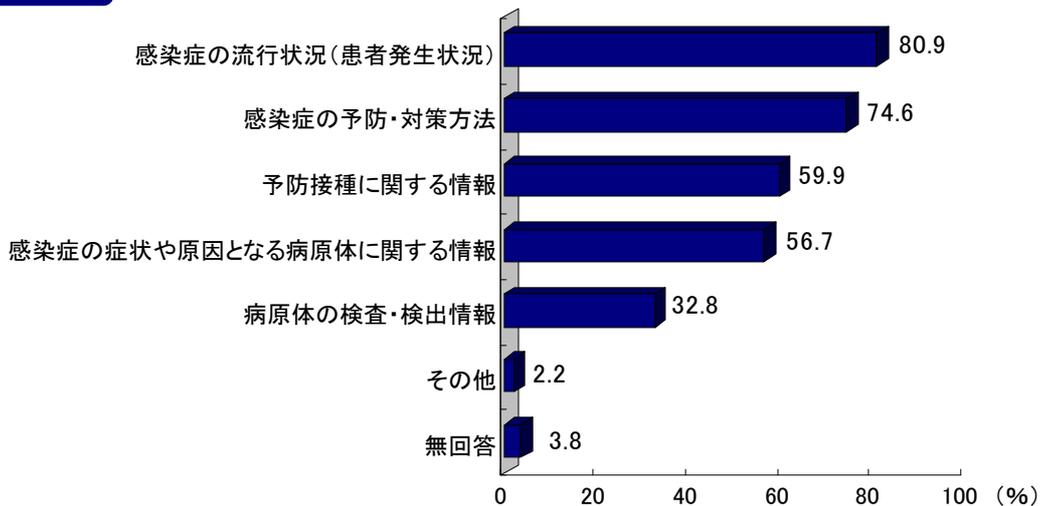
図7 (複数回答) n = (1,380)



1 興味のある感染症の情報について

興味のある感染症の情報について聞いた。「感染症の流行状況（患者発生状況）」（80.9%）が8割を超え最も高く、次いで、「感染症の予防・対策方法」（74.6%）が7割半ばとなっている。

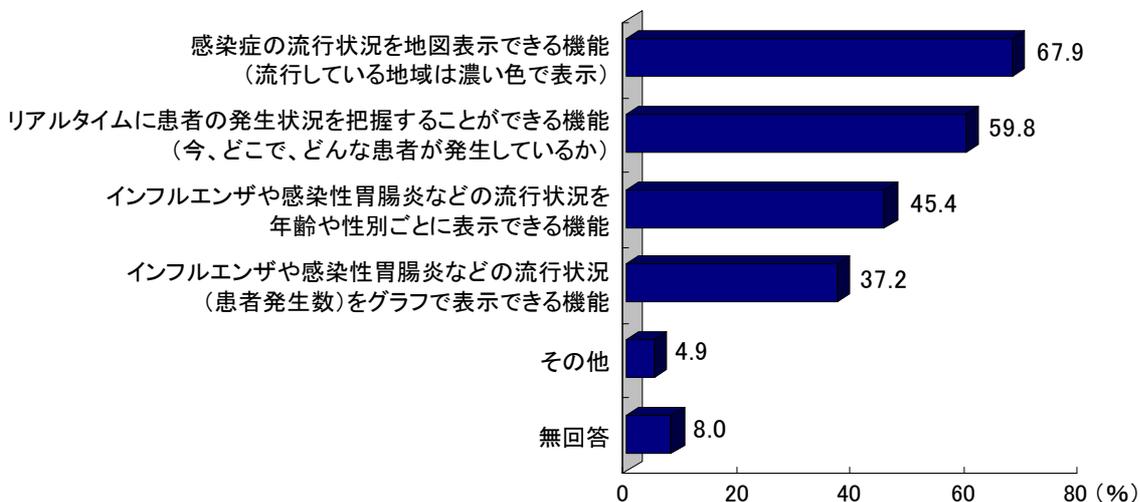
図8 （複数回答） n = (1,380)



2 新ホームページにあると便利な機能について

新ホームページにあると便利な機能について聞いた。「感染症の流行状況を地図表示できる機能（流行している地域は濃い色で表示）」（67.9%）が7割弱で最も高く、次いで、「リアルタイムに患者の発生状況を把握することができる機能（今、どこで、どんな患者が発生しているか）」（59.8%）が約6割となっている。

図9 （複数回答） n = (1,380)

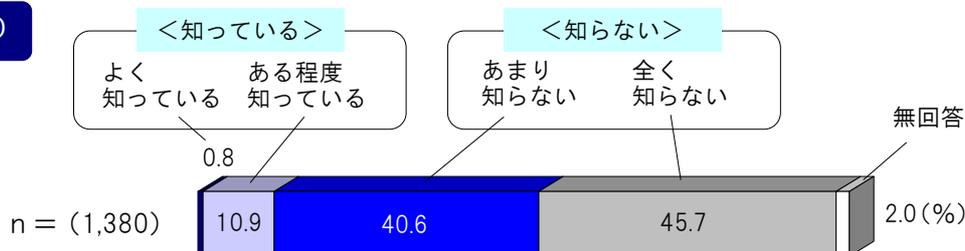


5 特定非営利活動法人（NPO法人）等への寄付促進について

1 市内で活動しているNPO法人の活動などの認知度について

市内で活動しているNPO法人の活動などの認知度について聞いた。「よく知っている」(0.8%)と「ある程度知っている」(10.9%)を合わせた<知っている>は約1割となっている。

図 10



2 NPO法人に対する寄付について

NPO法人に対する寄付について聞いた。「認定(仮認定)・条例指定を受けているNPO法人は、信頼ができるので、寄付してもよい」(15.9%)、「税制上の優遇措置の有無に関わらず、寄付してもよい」(14.8%)、「法制度の改正に関わらず、寄付したいとは思わない」(14.3%)がそれぞれ1割半ばとなっている。また、「分からない」(30.6%)は約3割となっている。

図 11

(複数回答) n = (1,380)



平成24年度第1回かわさき市民アンケート概要版 平成24年10月

発行 川崎市総務局市民情報室市民の声担当
〒210-8577
川崎市川崎区宮本町1番地
電話 044-200-2291 (直通)
FAX 044-200-3919